

自分達で決めて行動する=自治の第一歩

NEXT 東浦は、中学生と高校生の自治を考える集まりです。昨年度の自治を考える中高生のワークショップで、参加した子どもたちが自主的に決めてくれた名称です。自治=自分で決めて行動するとして、今年度は東浦のまちあるきスポットを探索しました。

☆同じ町に住むけれど、知らない他の学校区

東浦町には3つの中学校があります。部活では他の学校と交流できますが、それ以外ではほとんどありません。中学生が好きな自分のまちを紹介しあい、他の学校区へ出かけて行って、まちあるきをしました。まちあるきのコースは地元の子どもの話の聞いて、ルートを回る子どもたちで決めました。

まちあるきの際、「ポケット旅行記」というアプリを使い、入力しながらあるいてくれました。

お勧めの駄菓子屋さんやお総菜屋さんにも立ち寄り、心もお腹も満たしたまちあるきとなったようでした。

☆そして発表会

各グループのまちあるきの発表の後、ふりかえりのワールドカフェを行いました。街並みの違いに気づいたり、町の歴史を調べて分かったことだったり、そこから考えたことなどを発表してくれました。もちろん、自分たちができることも。

話し合っているときはゆったりと楽しそうに、発表のときはドキドキしながら、でも、落ち着いて取り組んでくれました。

中学生のときから、町のことに関わっていると、大人になっても地域に関わりやすくなる、地域への愛着が増すと言われています。それは、若者が地域への愛着を自覚していくためのはじめの一歩であるとともに、地域自治への第一歩でもあります。



☆願いを込めて

今回参加してくれた中学生、これからも何らかの形で参加してくれるだろう中高生が、将来の東浦町（NEXT 東浦ですね）の自治を進めていってくれることを期待しつつ、町をもっと好きになる、町のことを話し合う機会を創っていきたいと思いました。

☆新聞社や地元のケーブルテレビ局も取材に来てくださったので、参加した子どもたちに励みになったと思います。もちろん、進行していく大人にも子どもたちが認められたような気がして、うれしく、ありがたいことでした。